

DIAM 新興国ソブリンオープン 通貨選択シリーズ

<ブラジルリアルコース>

■追加型投信／海外／債券

ブラジルリアルコース。夢と希望を乗せて。



当ファンドは、実質的に債券などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

お申込みに当たっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）、
契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）を必ずご覧ください。

■投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申込みは

■設定・運用は



商号等／東洋証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号
加入協会／日本証券業協会

DIAMアセットマネジメント

商号等／DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会／（社）投資信託協会、（社）日本証券投資顧問業協会

DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ

ファンドの特色

『DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ』は、以下5本のファンドで構成される投資信託です。
<円コース>、<豪ドルコース>、<南アフリカランドコース>、<ブラジルリアルコース>、<中国元コース>

※当販売会社では<ブラジルリアルコース>のみのお取扱いとなります。

1

主として米ドル建ての新興国のソブリン債（国債および政府機関債等^(*)）に投資し、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的とします。

- 各ファンドは外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国のソブリン債（国債および政府機関債等）（以下、「新興国ソブリン債」といいます。）に実質的な投資を行います。
- 外国投資信託の運用はウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーが行います。

(*) 各国政府および政府関係機関が発行するソブリン債、または政府が出資している企業や政府保証が付いた債券である準ソブリン債を含みます。

2

為替変動リスクの異なる5コースの中から選択でき、その後のスイッチングも可能です。

- 各ファンドは、実質的に米ドル建て新興国ソブリン債に投資しますが、各コース毎の通貨（以下、「コース通貨」といいます。）で為替ヘッジを行います。
- この結果、各ファンド(<円コース>を除く)の基準価額は、コース通貨の対円為替変動の影響を受けます。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。また、各ファンド間でのスイッチングの取扱いは販売会社により異なります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。

3

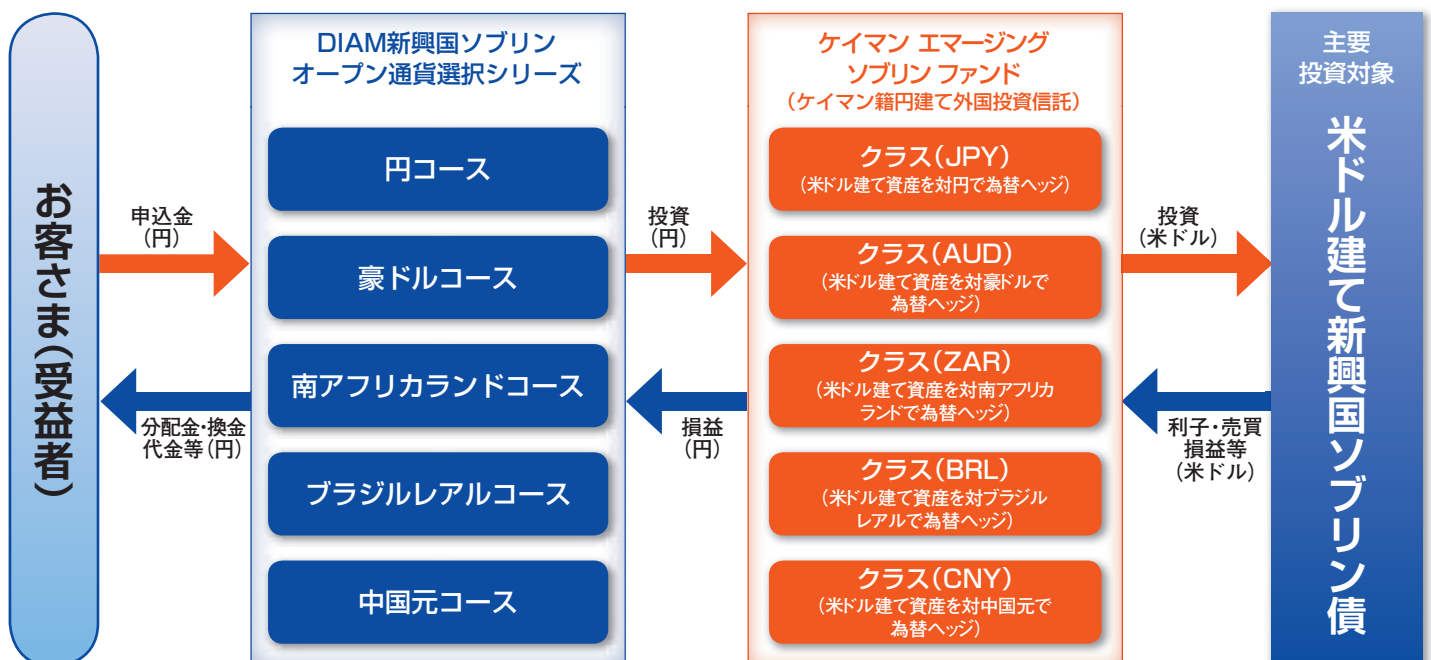
毎月決算を行い、原則として利子配当等収益等を中心に安定分配をめざします。

- 毎月5日（休業日の場合は翌営業日。）の決算時には、原則として利子配当等収益等を中心に安定分配をめざします。
- 毎年1月および7月の決算時には、安定分配に加えて委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※ 分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

ファンドの仕組み

※当販売会社では<ブラジルリアルコース>のみのお取扱いとなります。



※各コースは、「ケイマン エマージング ソブリン ファンド」の他に、「DIAMマネーマザーファンド」にも投資します。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。

※各クラス名において、JPYは円、AUDは豪ドル、ZARは南アフリカランド、BRLはブラジルリアル、CNYは中国元を表しています。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ

3つの要素からなるリターン／リスクの源泉<ブラジルレアルコース>

- 実質的に米ドル建て新興国ソブリン債に投資し、ブラジルレアルで為替ヘッジを行います。

源泉1 米ドル建て新興国ソブリン債へ投資

米ドル建ての新興国ソブリン債へ実質的に投資することで、相対的に高いインカムゲインの確保と、中長期的な値上がり益の獲得を追求します。

－新興国ソブリン債への投資には、先進国ソブリン債と比較して金利リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク等が大きい傾向があり、大きく債券価格が下落することがあります。



源泉2 為替ヘッジの活用

ブラジルレアル短期金利が米ドル短期金利よりも高い場合は、「為替ヘッジプレミアム」が期待できます。

－逆に、ブラジルレアル短期金利が米ドル短期金利よりも低い場合は、「為替ヘッジコスト」が発生します。



源泉3 為替変動

ブラジルレアルが対円で上昇した場合は為替差益を得ることができます。

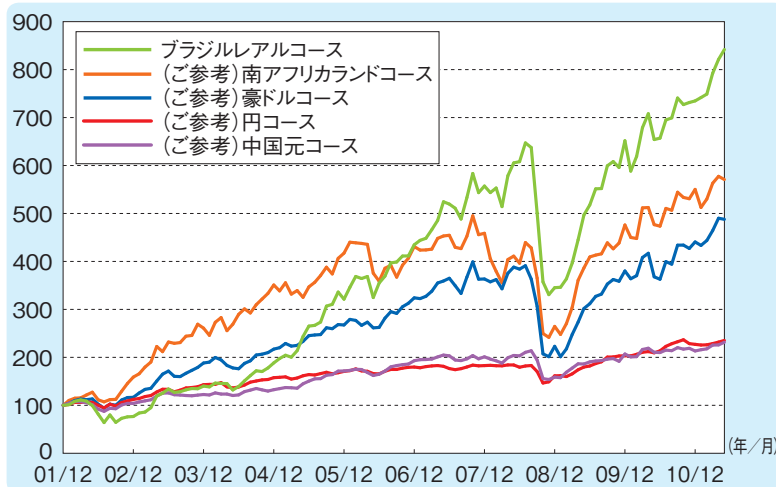
－逆に、ブラジルレアルが対円で下落した場合は為替差損が発生します。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

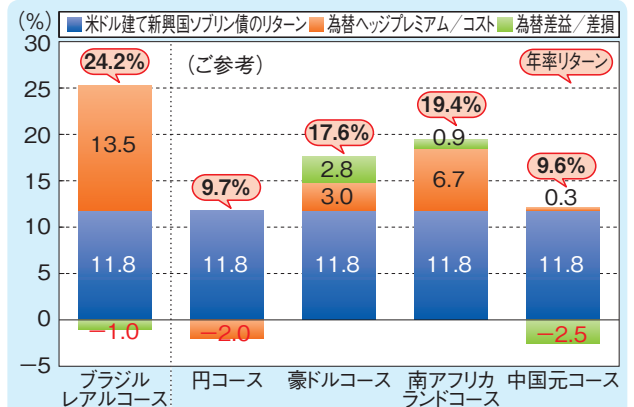
(ご参考)「3つのリターン／リスクの源泉」を組み合わせせた試算

- ①米ドル建て新興国ソブリン債へ投資、②為替ヘッジの活用、③為替変動を勘案した試算結果です。
- 過去の試算結果を見ると、ブラジルレアルコースでは為替ヘッジプレミアムが上乘せられることで、米ドル建て新興国ソブリン債のみに投資した場合よりも高いリターンとなっています。

各ファンドにおけるリターン推移 (試算、円換算ベース)



年平均リターンの内訳 (試算、円換算ベース)



※「米ドル建て新興国ソブリン債のリターン」、「為替ヘッジプレミアム/コスト」、「為替差益/差損」の各リターンの合計値と、各コース通貨におけるリターン(年率)は計算上、誤差が生じます。

※上記は、過去の市場指数、為替レートをもとにDIAMが行った試算結果であり、各ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を約束・保証するものではありません。

※データ期間:2001年12月末～2011年5月末。

※各ファンドにおける指数は、以下の①～③の各月次騰落率を乗じて算出された各ファンドの月次収益率をもとに、2001年12月末を100として指数化。

①米ドル建て新興国ソブリン債のリターン、②為替ヘッジプレミアム/コスト、③為替差益/差損(対円)

※上記データは以下を使用。①米ドル建て新興国ソブリン債: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス、②為替ヘッジプレミアム/コストは各通貨の短期金利、③為替差益:各通貨の対円為替レート。各通貨の短期金利は、「当資料で使用したデータについて」をご参照ください。

(出所:BloombergよりDIAM作成)

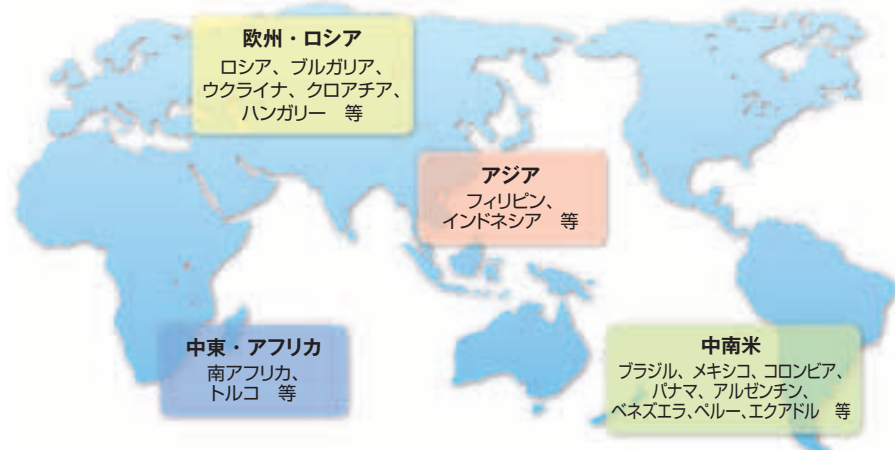
※上記のデータは、DIAMが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、情報の正確性および当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。※上記の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

源泉1 米ドル建て新興国ソブリン債へ投資

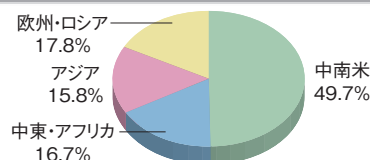
主要投資対象国

- ファンドは、主に米ドル建ての新興国ソブリン債に実質的に投資します。
- 新興国(エマージング諸国)とは、経済が発展段階にあり今後さらに経済成長が期待される国々あるいは地域をいいます。

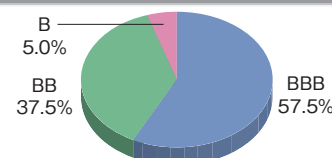
投資対象となる主な新興国 (2011年5月末時点)



米ドル建て新興国ソブリン債市場の地域別構成比



米ドル建て新興国ソブリン債市場の格付別構成比



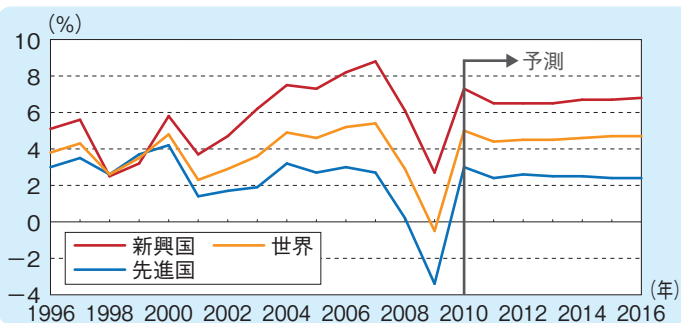
※上記はそれぞれ、2011年5月末時点のJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスにおける構成比。
 ※格付は、S&P社の外貨建て長期債格付を表示。
 ※+の符号は省略しています。
 (出所:JPモルガン、BloombergよりDIAM作成)

※当ファンドはこれらの国に必ず投資するとは限りません。また、記載されていない国にも投資を行う場合があります。

経済成長著しい新興国

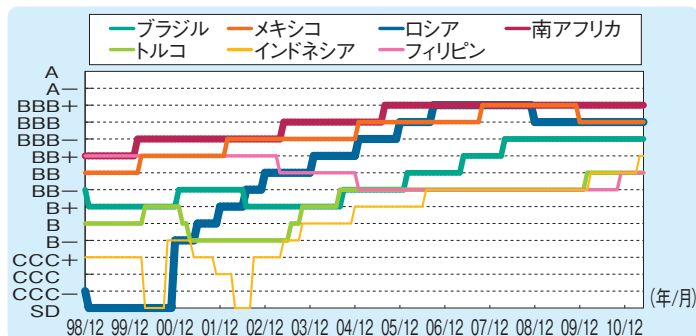
- 高い経済成長を背景に、ファンダメンタルズが改善し、格付も改善傾向にあります。
- それらに伴い、新興国は魅力的な投資対象となりつつあります。

実質GDP成長率の推移 (1996年～2016年)



※世界、先進国、新興国はそれぞれIMFが定めるWorld, Advanced economies, Emerging and developing economiesの値を使用。
 ※2010年以降は予測値。

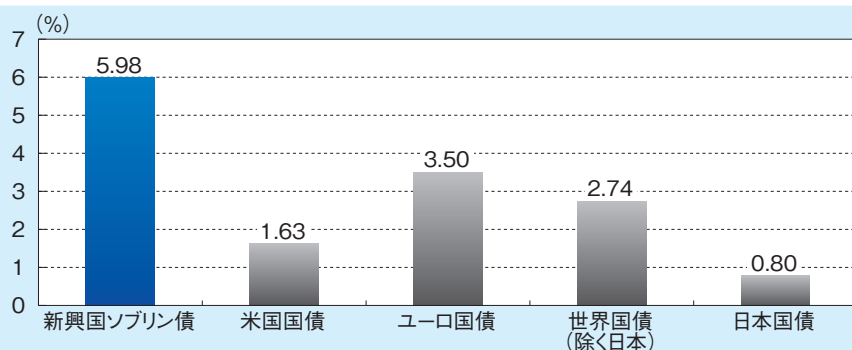
格付の推移 (1998年12月末～2011年5月末)



※各国格付は、S&P社の外貨建て長期債格付を表示。
 (出所:IMF、BloombergよりDIAM作成)

相対的に高い利回り水準

各種債券の利回り比較 (2011年5月末時点)



※左記各利回りは指数に基づくため償還年限は一定ではありません。
 ※新興国ソブリン債はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス、米国国債はシティグループ米国国債インデックス、ユーロ国債はシティグループ欧州世界国債インデックス、世界国債(除く日本)はシティグループ世界国債インデックス(除く日本)、日本国債はNOMURA-BPI国債の各最終利回りを表示。

(出所:BloombergよりDIAM作成)

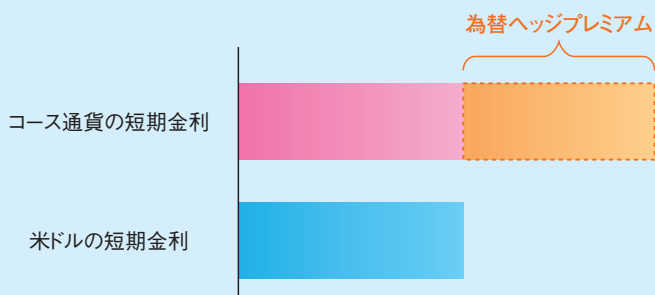
※上記のデータは、DIAMが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、情報の正確性および当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。※上記の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

源泉2 為替ヘッジの活用

- 米ドルよりも金利の高い通貨で為替ヘッジを行う場合は、「為替ヘッジプレミアム」として獲得することが期待できます。
- 一方、米ドルよりも金利が低い通貨で為替ヘッジを行う場合は「為替ヘッジコスト」が生じます。

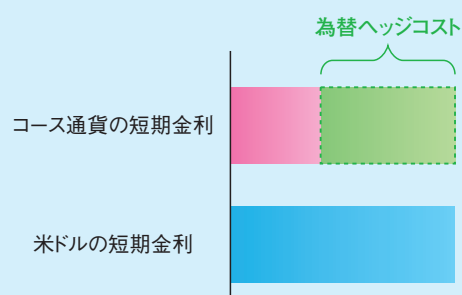
為替ヘッジプレミアムの例

- 米ドルに比べて金利が高い通貨で為替ヘッジを行う場合
(米ドルの短期金利<コース通貨の短期金利)

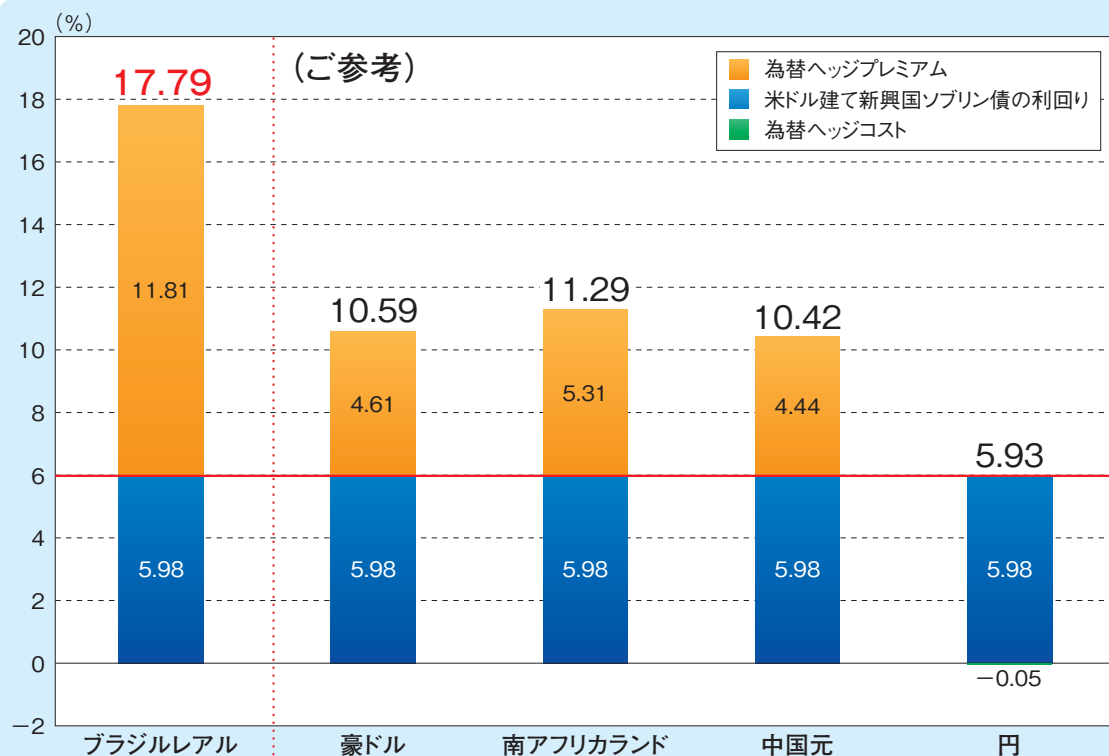


為替ヘッジコストの例

- 米ドルに比べて金利が低い通貨で為替ヘッジを行う場合
(米ドルの短期金利>コース通貨の短期金利)



米ドル建て新興国ソブリン債の利回り+為替ヘッジプレミアム/コスト(試算)



(ご参考) 各通貨の短期金利

通貨	短期金利(%)
ブラジルレアル	12.00
豪ドル	4.81
南アフリカランド	5.50
中国元	4.63
円	0.14
米ドル	0.19

新興国ソブリン債の
利回り
5.98%

※2011年5月末時点。

※上記の利回りは、市場および指数の利回りであり、各ファンドの利回り・分配金の水準を示唆・保証するものではありません。各ファンドの実際の利回りは米ドル建て新興国ソブリン債の組入比率や、投資銘柄、市場環境、為替ヘッジ比率等の要因により変動しますので、上記利回りとは異なります。

※一部の通貨については、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用することにより為替ヘッジを行う場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該対象通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。

※米ドル建て新興国ソブリン債の利回りはJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスの利回り。

※上記の為替ヘッジプレミアム/ヘッジコストの値は、あくまで簡便法によるものであり、実際の値とは異なります。対象通貨の金利環境等の変化により為替のヘッジプレミアムとヘッジコストが逆転する場合があります。

※各ファンドでは、米ドルに対して為替ヘッジを行うことにより、コース通貨の為替変動リスク(対米ドル)をヘッジしますが、完全にヘッジを行うことができない場合があります。よって為替ヘッジプレミアムを十分に得ることができない場合や、米ドルに対する為替変動の影響を受ける可能性があります。

※当ページにおける各通貨の短期金利は、「当資料で使用したデータについて」をご参照ください。

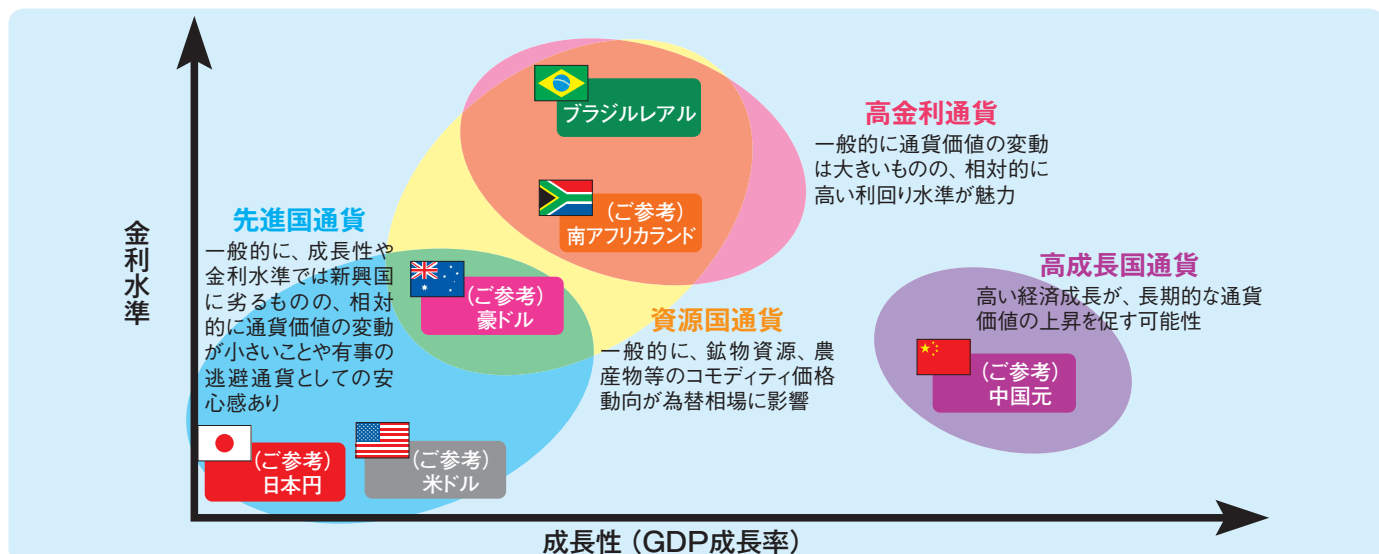
(出所:BloombergよりDIAM作成)

※上記のデータは、DIAMが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、情報の正確性および当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。※上記の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

源泉3 為替変動

各コース通貨の特徴

- ブラジルレアルには「資源国通貨」「高金利通貨」という2つの魅力があります。



※上記は、各コース通貨の特徴の一部を簡略的にイメージしたものであり、実際とは異なることがあります。※金利水準は2011年5月末時点の各国1ヵ月短期金利、成長性は2012年～2016年(IMF予想)実質GDP成長率の各国平均値を参考に各通貨を配置。(出所:Bloomberg, IMFよりDIAM作成)

ブラジルレアルの対円為替レートの推移 (2001年12月末～2011年5月末)

- ブラジルレアルが対円で上昇した場合は為替差益を得ることができ、逆に対円で下落した場合は為替差損が発生します。



ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーのご紹介

- 米ドル建て新興国ソブリン債の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーが行います。
- ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーは、レグ・メイソン・インク(ニューヨーク証券取引所上場)の100%子会社です。

ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーのグローバル債券運用拠点



- ◆ 全世界で7ヵ所の運用拠点
- ◆ グローバル債券のアクティブ運用に特化
- ◆ チーム・アプローチによるセクター分析に定評
- ◆ 運用哲学
 - ▶ 長期バリュエーションを重視した戦略の分散化
- ◆ 運用資産総額: 4,690億米ドル
うち新興国債券運用残高: 188億米ドル
(1993年より新興国債券運用開始)
- ◆ 役職員数: 905名 ※2010年9月末時点。



(出所:ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー資料よりDIAM作成)

※上記のデータは、DIAMが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、情報の正確性および当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。※上記の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。



ファンドの投資リスク

ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

<ブラジルリアルコース>

為替リスク	ファンドの主要投資対象である外国投資信託では原則として、実質的な投資資産の発行通貨（米ドル）を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行います。しかし、米ドルの為替変動の影響を完全に排除できるものではありません。くわえてブラジルリアルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。この場合、ブラジルリアルに対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。また、ブラジルリアルの金利が米ドルの金利より低い場合、その金利差相当分のコストがかかることにご留意ください。なお、ブラジルリアルは、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引（NDF）を利用することにより為替ヘッジを行います。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該対象通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。
金利リスク	一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。ファンドは、実質的に債券に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。新興国債券に投資する場合、先進国債券に比べ金利リスクが大きくなる傾向があります。
信用リスク	実質的に投資する債券や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。新興国債券に投資する場合、先進国債券に比べ信用リスクが大きくなる傾向があります。
カントリーリスク	ファンドが実質的に投資を行う通貨や債券の発行者が属する国の経済状況は、先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化などが為替市場や債券市場におよぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制などの種々な規制の導入や政策の変更等の要因も為替市場や債券市場に著しい影響をおよぼす可能性があります。
流動性リスク	ファンドは、実質的に市場規模が小さい債券等に投資する場合があります、そのような市場では、資産規模や取引量が少ないために売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

当資料で使したデータについて

【各通貨の短期金利】

円、米ドル、豪ドルは1ヵ月LIBORを使用。南アフリカランドは、ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月。ブラジルリアルは、1ヵ月CD（譲渡性預金）レート。中国元は、中国・インターバンク・オフアード・レート1ヵ月（2001年11月末～2003年9月末まで）、中国・インターバンク・レポ・レート1ヵ月（2003年10月末～2006年9月末まで）、上海・インターバンク・オフアード・レート1ヵ月（2006年10月以降）。

【指数の著作権等】

■JPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・チェース・アンド・カンパニーに帰属します。

■シティグループ世界国債インデックス、シティグループ米国国債インデックス、シティグループ欧州世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。

■NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

投資信託ご購入の注意

証券投資信託は、

- (1) 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 - (2) 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 - (3) 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。
- 当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。当ファンドのお申込みに際しては、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)をあらかじめお渡しいたしますので、内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お申込みメモ(ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。)

当販売会社では<ブラジルリアルコース>のみのお取扱いとなります。

ご購入について

ご購入の受付は、原則として販売会社の毎営業日に行われます。
※受付は、原則として午後3時までといたします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。
※ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日に該当する日(以下「海外休業日」といいます。)には受付を行いません。

購入単位 (当初元本1口=1円)

販売会社が定める単位
※「分配金受取コース」および「分配金自動けいぞく投資コース」によるお申込みが可能です。お申込みになる販売会社によっては、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなります。購入単位および取扱コースについては、販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込日の翌営業日の基準価額

ご換金について

ご換金の受付は、原則として販売会社の毎営業日に行われます。
※受付は、原則として午後3時までといたします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。
※海外休業日には受付を行いません。
※大口の換金請求に制限を設ける場合があります。また、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、受付を中止することおよび受付を取り消すことがあります。

換金単位

販売会社が定める単位

換金価額

換金申込日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額(換金申込日の翌営業日の基準価額の0.1%)を差し引いた価額

換金代金

原則として換金申込日から起算して6営業日目からお支払いします。

スイッチング

販売会社が定める単位にて、本シリーズの5本のファンド間で乗換え(スイッチング)が可能です。
※スイッチングとは、すでに保有しているファンドを換金すると同時に他のファンドの購入の申込みを行うことをいい、ファンドの換金代金がそのまま購入代金に充当されます。スイッチング時には、換金時と同様に、信託財産留保額および税金がかかります。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社までお問い合わせください。

信託期間

平成31年10月29日までです。
(当初設定日:<各ファンド(中国元コース除く)>平成21年10月29日<中国元コース>平成23年1月25日)

繰上償還

各ファンドが主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合、受益権口数が10億口を下回った場合等には、償還することがあります。

収益分配

毎決算時(原則として毎月5日。休業日の場合には翌営業日。)に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。
「分配金受取コース」原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。
「分配金自動けいぞく投資コース」税引後、自動的に無手数料で全額再投資されます。
※分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

課税関係

◆当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。
原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。
※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客さまにご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

●ご購入時

購入時手数料

購入価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。
※くわしくは販売会社にお問い合わせください。

●スイッチング時

スイッチング手数料

スイッチングによるお申込日の翌営業日の基準価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。
※販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社までお問い合わせください。

●ご換金時

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

換金申込日の翌営業日の基準価額に0.1%を乗じて得た額とします。

●保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)

運用管理費用(信託報酬)

実質的な運用管理費用(信託報酬):信託財産の純資産総額に対して年率1.6175%(税抜1.565%)(概算)
・各ファンド:信託財産の純資産総額に対して年率1.1025%(税抜1.05%)
・投資先外国投資信託:投資先外国投資信託の純資産総額に対して年率0.515%

その他費用・手数料

組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。
(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

委託会社その他関係法人の概要

■委託会社	DIAMアセットマネジメント株式会社 信託財産の運用指図等を行います。
■受託会社	みずほ信託銀行株式会社 信託財産の保管・管理業務等を行います。なお、受託会社は信託事務の一部につき資産管理サービス信託銀行株式会社に委託することができます。
■販売会社	募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資、収益分配金、一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。

照会先

DIAMアセットマネジメント株式会社
・コールセンター 0120-506-860 受付時間:営業日の午前9時から午後5時
・ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>